

国際交流員の
活動日誌

vol.69



「メリー、ハッピー多様性」 Jubilant Diversity

12月が訪れると、多くの場所
所で、暖かくきらめく光の季節
節的な飾り付けをしています。
す。ある人にとっては、クリ
スマスが近いという合図にな
りますが、ある人にとっては
違う特別な日の合図になりま
す。

例えば、ユダヤ教徒は、ユ
ダヤ暦による8日間のハヌ
カーを祝います。その間に、
毎日メノラーという燭台に新
しいろうそくを立て、火を灯
します。祝宴やドレイドルと
いうコマで遊ぶのが一般です。
また、クワンザという祝賀
はクリスマスやハヌカーと違

い、無宗教な多くのアフリカ
系の人々が、12月26日から1月
1日の間に文化遺産と価値観
を祝います。各日は決まった
価値観（団結、責任など）を
認識し、重んじます。この二
つのお祝いは12月のごくわず
かの記念です。

この多様性があるからこそ、
「Merry Christmas（メリーク
リスマス）」よりも包含的な
「Happy Holidays（ハッピー
ホリデーズ）」であいさつす
る人が多くいます。

12月をどのように過ごして
も、皆さんの幸福と喜びを祈
ります！ Happy Holidays!!
(トラ)

地域の魅力
ふる里再発見松前・梁川藩から館藩へ - 4 -
～熊坂適山・蘭齋兄弟の活躍～

令和4年度第2回企画展

松前・梁川藩から館藩へ

12/26日まで

伊達市保原歴史文化資料館

松前藩が梁川に移封とな
った後、家老で画家であ
る蠣崎波響との関わりを経
て、のちに松前藩士となっ
た伊達市出身者がいます。
熊坂適山・蘭齋兄弟です。
熊坂家は、高子村（現・保
原町上保原）に私塾・白雲
館を開いた一族です。熊坂
適山・蘭齋兄弟は、伊達郡
市柳村（現・保原町）に生
まれました。

兄の適山は、松前藩の梁
川移封後、蠣崎波響に絵の
教えを受け「波玉」と名乗
りました。文政4（1821）
年の松前藩復領後は、浦上
春琴や田能村竹田について
南画を学び、名を適山と改
めました。波響の教えを受
けていた10年余りは、写生
画風の山水を描いていまし
たが、のち南画家として
名声を博しました。天保
15（1844）年には松前
藩の御用絵師として迎えら
れ、その後、勘定方役人、
晩年には江戸屋敷詰めとな
り、元治元（1864）年、

70歳で死去しました。

弟の蘭齋は、初めに漢方
医学を学びましたが、江戸
に出て蘭学を修めました。
オランダ語に造詣が深く、
天保11（1840）年に『和
蘭文典前編』を出版し、嘉
永5（1852）年に松前
藩の藩医となりました。

現在でも、保原町の仙林
寺・長谷寺や神明宮、受円
寺などに、この2人の合作
画碑が残されており、市指
定文化財となっています。
資料館で開催中の企画展
では、画碑の写真を展示し
ています。



「熊坂適山・蘭齋合作
画碑 梅月画碑」
保原町高成田
城取神社